

# 現場の声を聞き、土曜日も開催。 参加率が向上した分散型研修

**参加者の発言数も増え、  
質の高い研修に変化**

約20名のホームヘルパーが在籍している当事業所。以前は集合型研修を月1回実施していましたが、昨年3月から、4〜6名で月3〜4回おこなう分散型研修（講義が30分、小テストや質疑応答が15分、ミーティングが15分の計1時間）を取り入れています。

「コロナ禍前は、参加率が6割程度の月もあったので、この機会にあらためて参加しやすい日時を聞き取りました。『平日は家のことがあって参加しづらい』という声が複数あり、土曜日の午前中を候補日としたところ予想以上に希望者が。結果、現在は9割以上の参加率になりました」と研修で講師も務める管理者の永田英一さん。

回数を増やすことで、場所の確保や日程調整の手間などは増えたものの、それ以上にプラスの要素があり、「きつかけは感染対策でしたが、分散型にして良かったです」と話します。

実際に取り組んで  
わかった!

## 分散型研修のメリット

### 参加者側

- ひと月の開催数が増えるので、自分の都合に合わせて参加しやすい。
- 少人数なので、質疑応答しやすく、より内容の濃い話もできる。

### 講師側

- 参加者の発言が増えるので、「何を知りたいのか」がわかる。
- 前の回で出た質問等を踏まえ、「この部分をもっとわかりやすく説明しよう」など、研修内容を調整できる。

※当事業所では議事録を取り、全員がすべての回の研修内容を確認できるようにしている。



「1列目は空ける」「机は1人1台」など、距離をしっかりと確保。感染対策を万全にして、実施している。

聞いてみました!

**Q** どのように日程の調整はおこなっている?

回答者 永田英一さん(管理者)

**A** 当事業所では、ホームヘルパー全員がスマホを使用しているため、メールで開催候補日を送り、第1希望から第3希望まで回答してもらっています。

今年の2月下旬からは、タイムリーに情報を共有できる「Chatwork」というアプリを導入したので、今後はそちらを日程調整にも活用する予定です。

### アイユウの苑 ホームヘルプサービス

1994年に山口県下関市に設立。当事業所を運営する社会福祉法人松美会では、訪問介護をはじめ、通所介護、訪問看護、特別養護老人ホームなど、高齢者介護を中心とした福祉サービスを提供している。  
<https://www.shoubikai.or.jp/>